

半蔵門大学

- ◆ 地方の私立大学
 - ◆ 医学部と看護学部 (海外に国際学部がある)
 - ◆ 大学院
 - ◆ 学生数1,000人、教員数300人
 - ◆ 研究業績データはあるが、学外には非公開
- 半蔵門大学附属図書館は・・・
- ◆ Webサイトだけ公開しており、インフラ基盤整備が必要
 - ◆ 人手不足・・・担当者が異動しても将来的に安定したシステムにしたい



半蔵門大学の機関リポジトリ 構築調査

～半蔵リポジトリを作るには～

機関リポジトリとは？

- ◆ 当該機関の研究者、教職員、学生などその機関の構成員たちの教育研究に関する成果物を収集・蓄積・保存し、かつ、インターネットを通じて無償で学内外へ発信するシステム
- ① 大学の研究成果を自主的に保存・公開し、オープンアクセスできるようにすること
- ② 出版されていないものや失われやすいものを確保し、保存していくこと

国内では**183**の大学・研究機関がリポジトリで研究成果を公開、国外では約**1700**機関が公開中

半蔵門大学にとってのメリット

- ◆ 大学へのアクセスポイントが増加
 - ◆ 大学のブランド力向上
 - ◆ 学生募集力UP
 - ◆ 研究業績・研究付帯情報の一元管理
⇒ 学内システムの認証を一本化
 - ◆ 研究成果の散逸防止
 - ◆ 地域医療関係者・潜在看護師の支援
- ・・・そのためには
- ◆ システム構築外注に伴うコストがかかる
 - ◆ 学術雑誌論文の登録を義務化

スケジュール(案)

2010年09月

10月

11月

12月

2011年01月

02月

03月

全体計画

9/6

【仕様検討／環境構築フェーズ】

12/24

【運用準備フェーズ】

4/4

WG
立上げ

109days

学内
アナウンス

101days

公開&
正式運用
開始

システム・ 環境構築

運用規定・細則等作成

構築方法・仕様検討

仕様確定
システム発注

11/15

納品

12/13

システム準備(発注先)

運用テスト

コンテンツ 収集・登録

紀要掲載論文収集

紀要掲載論文データ化

ジャーナル掲載論文収集

ジャーナル掲載論文データ化

データ登録・試験公開(紀要優先・順次)

広報 対外戦略

Base URL確定

12/13

広報向け資料・
プレスリリース作成

検索サービス登録作業

OAI, CiMii,
AIRway, JAIRO, Google等

運用マニュアル作成

半蔵導入による効果

医療看護
分野の研究

私たちの活動を世界に
対してオープン
にする基盤システムに！

病気のこと
を知りたい
一般の方々

半蔵門大学
リポジトリ

看護師に対し
生涯学習の場
を提供することができ
ないか

必要経費

	初年度	次年度以降
機関リポジトリ SaaSサービス初期発生費用 (カスタマイズを含む)	200万円	
上記サービス保守費用	100万円	100万円
対象コンテンツ： 紀要、学術雑誌論文 コンテンツ登録データ作成 (初年度3000件) (次年度以降1000件/年) 1. 学会・出版社への公開許諾 2. メタデータ作成 3. PDFファイル化(OCR処理有)	600万円	200万円
合計	900万円	300万円